

平成15年度 全国中学校体育大会  
**第33回 全国中学校バスケットボール大会**

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		予選リーグ	
日時	平成15年8月 22日 (金)		14:50 ~
会場	札幌美香保体育館		Gコート 第5試合
結果	石山 (新潟)	42	東京成徳 (東京) 79
主審	美沢 教司 (北海道)		副審 石川 理絵 (北海道)

【戦評】

ともに緒戦に勝利し、決勝トーナメント進出を決めている両チームの対戦である。高さのある成徳に対して、主力に1, 2年生が混成する石山がどう戦うかが注目される一戦である。スタートは両チームとも第一戦目と同じ。成徳は#10 天野のリバウンドシュートから始まり#5 川村のバスカン、#7 山田のゴール下、合わせプレーからの得点など多彩なオフェンスを展開。対する石山は#15 金子のブレイクやドライブ、#4 赤澤のジャンプシュートなどで対抗するが単発に終わり、第1クォーターで10-26と成徳が大きくリード。

第2クォーター石山は高さでは劣勢であるが果敢にオフェンスリバウンドに飛び込み、石山ベースになりかけるが、イージーシュートを落としているうちに流れは再び成徳へ傾き、前半を石山16-41成徳と大差となる。

第3クォーターのスタートを成徳はほとんど下げる。対する石山も第4クォーターは完全にスタメンを下げ、互いにサブメンバー同士のゲームとなる。成徳は#11 長谷川の速い動きに回りがよく合わせ、主導権を相手に渡さずにゲームを進める。第4クォーター途中から石山は#8 式部、#9 駒沢をコートへ戻し、得点を重ねるが、差はほとんど縮まらず、石山42-79成徳で終了。

成徳は終始プレッシャーマンツールからブレイクをねらい、センターがそれにあわせるようにセカンダリーブレイクまで展開していた。対する石山も高さに苦しみながらも、何とか自分たちのベースに持ち込もうとする姿が印象的であった。両チームともどのプレーヤーがコートに出てきても全力でプレーし、よく足が動く好チームである。両チームの健闘をたたえたい。

大浦 浩(恵庭啓明)

【個人トータル表】

石山(新潟)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	赤澤 里佳	2	0	1	0	1
5	渡邊 まどか	2	0	1	0	2
6	玉木 絵理奈	0	0	0	0	0
7	大瀧 あずさ	4	0	2	0	2
8	式部 彩乃	12	0	6	0	0
9	駒沢 友花里	8	0	3	2	4
10	吉原 沙耶	2	0	1	0	1
11	小泉 素子	0	0	0	0	0
12	渡辺 歩実	0	0	0	0	0
13	阿部 春菜	2	0	1	0	3
14	渡邊 萌	2	0	1	0	0
15	金子 智美	4	0	2	0	1
16	赤川 愛	2	0	1	0	0
17	柄澤 方子	2	0	0	2	0
18	木村 沙耶	0	0	0	0	2
	合計	42	0	19	4	16

東京成徳(東京)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	有山 景子	1	0	0	1	2
5	川村 美穂	5	0	2	1	1
6	板坂 優貴	4	0	2	0	2
7	山田 茉美	14	0	6	2	1
8	津野田 麻恭	0	0	0	0	0
9	光山 慈能	10	0	5	0	1
10	天野 佳代子	11	0	5	1	1
11	長谷川 香奈	12	0	5	2	4
12	富田 夕貴	4	0	2	0	1
13	片山 浅美	10	0	5	0	1
14	藤澤 美里	2	0	1	0	0
15	川鍋 早紀	0	0	0	0	2
16	本山 純子	2	0	1	0	0
17	河合 弥耶	0	0	0	0	0
18	間宮 佑圭	4	0	2	0	2
	合計	79	0	36	7	18

【リーグ戦績】

	東京成徳 (東京)	石山 (新潟)	大阪東住吉 (大阪)	勝敗	順位
東京成徳 (東京)		79 (26-10, 15-6, 23-8, 15-18)	85 (17-11, 23-5, 24-11, 21-5)	2勝 0敗	1位
石山 (新潟)	42 (10-26, 6-15, 8-23, 18-15)		37 (14-10, 12-2, 7-9, 4-7)	1勝 1敗	2位
大阪東住吉 (大阪)	32 (11-17, 5-23, 11-24, 5-21)	28 (10-14, 2-12, 9-7, 7-4)		0勝 2敗	3位